

生誕100年・没後70年記念

第10回

中城ふみ子賞

短歌作品募集

募集要項

テーマ

自らの「生きる姿勢」を短歌に託した意欲的で力強い作品を募集します

応募条件

●未発表の作品 短歌50首とします

応募方法

●メール応募

原稿と応募用紙(様式は帯広市図書館ホームページにあります)をメールで帯広市図書館に送信する
library2@city.obihiro.hokkaido.jp



●郵送による応募

400字詰め原稿用紙(A4縦)に

・タイトル

・短歌(1首毎に番号をつけ、1枚につき10首記載自筆、パソコン可)

・新旧かなづかいの指定

を記入した原稿4部と応募用紙(A4)を郵送する
※必要事項が記載されていれば、応募用紙の体裁は問いません
※自筆の場合、黒インク、または黒ボールペンを使用してください

出詠料

一人2,000円 口座振込

口座番号 帯広信用金庫 本店 普通1379946

口座名義 ナカシヨウモリヨウジツウウイソカ

※必ず本名で振り込んでください

応募上の注意

- 規定の首数に満たないものは選考対象外とします
- 受付期間内に入金を確認できない場合、無効とします
- 原稿用紙にはタイトルと短歌、かなづかいの指定以外、記載しないでください
- 入賞作品の著作権は主催者に帰属します
- 応募原稿の返却、訂正には応じられません

受付期間

令和4年5月1日(日)～令和4年5月31日(火)
(当日消印有効)

※感染リスク軽減のため、原則郵送してください(持参も可)

郵送応募先
問合せ先

〒080-0012

北海道帯広市西2条南14丁目3番地

帯広市図書館内 中城ふみ子賞実行委員会事務局

電話 0155-22-4700 Mail library2@city.obihiro.hokkaido.jp

選者

●永田和宏 ●池田はるみ ●時田則雄

賞

●中城ふみ子賞 1名 賞状及び副賞(10万円)
入選者の作品は、雑誌「短歌研究」令和4年11月号に発表

主催・後援

主催：中城ふみ子賞実行委員会、株式会社短歌研究社、帯広市、帯広市教育委員会

後援：帯広商工会議所、(一社)帯広観光コンベンション協会、帯広市川西農業協同組合、帯広大正農業協同組合、現代短歌社、いりの舎、朝日新聞帯広支局、毎日新聞北海道支社、読売新聞釧路支局、時事通信社帯広支局、北海道新聞社帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB北海道テレビ、株式会社帯広シティーケーブル、(一財)東京家政学院光塩会



札幌医大病院にて

中城 ふみ子

中城ふみ子は、戦後の歌壇に彗星のごとく現れ、死と生を詠んだ数々の歌は、短歌の世界に鮮烈な光を放った。

大正11年11月25日、北海道帯広市に生まれる。幼少の頃から人目をひく美しさであった。昭和16年、東京家政学院卒業後帯広に戻り結婚。四子をもうけるが後に離婚。

昭和22年、小田観螢が主宰する短歌結社「新墾(にいほり)」に入会。26年には帯広の「山脈(やまなみ)」に同人として参加。この年、左乳房に異常を自覚。27年、「左乳腺単純ガン」と診断され切除。翌年再発し、29年、札幌医大病院へ入院する。

同年、雑誌「短歌研究」の第一回新人五十首募集に応募し一位となる。乳ガン、離婚、それに恋愛の記憶を重ね劇的に詠った入選作「乳房喪失」は、「短歌研究」4月号に掲載され、歌壇内外に大きな反響を呼ぶ。

昭和29年8月3日、31才で逝く。死の直前に歌集『乳房喪失』が刊行。死後第二歌集『花の原型』が編まれた。

現在、帯広市内には二基の歌碑があり、それぞれ「冬の皴よせある海よ今少し生きて己れの無惨を見むか」と「母を軸に子の駆けめぐる原の晝木の芽は近き林より匂ふ」の歌が刻まれている。